

検査免除「昨年9月通知」

在日米軍が説明 外務省と食い違い

在日米軍が新型コロナウイルスの出国前検査を免除していた問題をめぐり、米軍と日本の外務省の認識に齟齬が生じている。米軍は昨年9月の免除を外務省に伝えたと主張。外務省は昨

年12月と把握したと説明している。林芳正外相は、日本間の食い違いに「今後はそうした状況が生じないよう、より一層緊密に連携していく」と述べた。

在日米軍は昨年9月、米軍基地や周辺で感染が拡大。外務省は昨年12月24

日、米軍の検査状況を確認したところ出国前検査が免除されていたことを発表した。外務省は国会審議などでも同じ説明をしてきた。JLNが今月2日、NHKの取材に対し、米軍が「日本側に情報を提供してきた」と回答したことが報じられた。これを受け、外務省は米軍に対し、出国前検査の免除を以前から日本

側に通知していたという認識は誤りだと申し入れた。

林氏は4日の会見で、米軍から3回と回答があり、「在日米軍として新型コロナ対策に関して日本側と緊密に連携をするなか、出国前検査の免除についても外務省に通知していたとの認識である」との説明があったことを明らかにした。日本側は、通知があったとの認識はなかったことを改めて伝えたという。

在日米軍の出国前検査免除	
21年9月3日	在日米軍が出国前検査を免除
12月22日	沖縄の基地での感染拡大で、林外相が在日米軍司令官に「強い遺憾」伝達
24日	外務省、在日米軍の出国前検査の免除を把握したと発表
26日	在日米軍が出国前検査を再開
22年2月2日	在日米軍の「日本側に情報を提供してきた」との主張が報じられる。日本は「誤った認識」と米軍に申し入れ
3日	在日米軍が「外務省に通知していた」と外務省に回答

林氏は会見で「両者の認識に齟齬があった」と認め、日米合同委員会の下に設けられた「検疫・保健分科委員会」で緊密に連携していくとした。その上で、林氏は「米側の措置の整合性を確保する外務省の取り組みに不十分な点があつた」ということは否定できず、「真摯に受け止めている」と述べた。

(野平悠一)